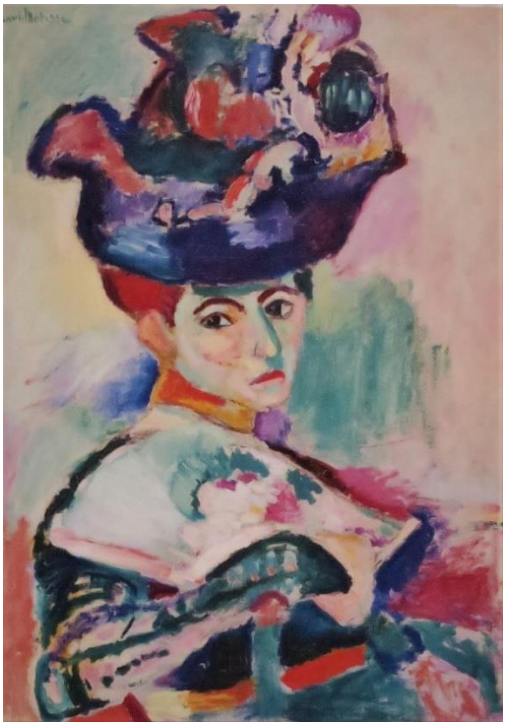
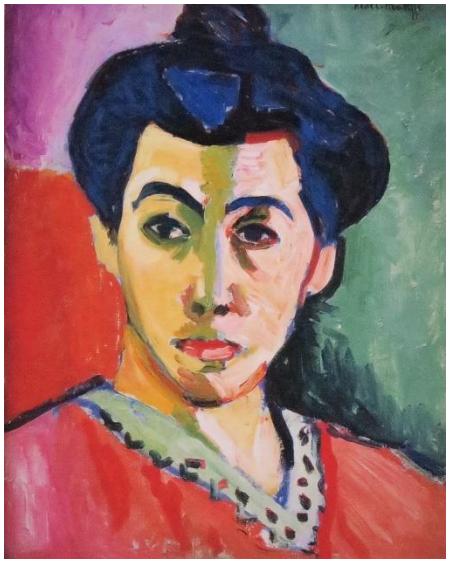
2023-5-30

マティスの作品に影響を与えたミューズたち～その２～

山本 雅晴

アメリー・マティス(1872～1958)はマティスの妻である。マティスとは 1898 年 1 月に結婚し、売れない画家を経済的にも精神的にも支えた。初期にはモデルも務めた。詳細はヒラリー・スパーリング著「マティス知られざる生涯」白水社刊に記載。フォービズムとなずけられた 1905 年の作品 1，2。1913 年のエルミタージュ美術館の作品 3。画家の家族の一員として 1911 年の作品 4。長男の 1917 年の出征の時の家族を描いた作品 5。1930 年代には体調不良やノイローゼ気味、マティスとの確執などで 1939 年に離婚騒動・別居などもあった。晩年はマティスの名声を高めるためにマルグリットや息子たちと共に活動し、美術品を美術館へ寄贈した。





1.　帽子の女 1905 サンフランシスコ近代美術館　2.緑の筋のある女 1905 コペンハーゲン NG　3.マティス夫人の肖像 1913

4. 画家の家族 1911 エルミタージュ美術館　　5. 音楽のレッスン 1917 バーンズ美術館